

「日本史探究」シラバス

学科	普通科	学年	2 年	類型		組	1・2 組	単位数	3
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）								
副教材等	最新日本史図表（第一学習社）、詳説日本史 10 分間テスト（山川出版社） 新日本史要点ノート 応用編（啓隆社）								

1 学習の到達目標

① 日本史の基礎的な知識を身に付け、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする。
② 日本史の学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

知識・技能	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	(1)(2)(5)(6)(7)(8)
思考・判断・表現	日本の歴史の展開に関わる事象の意義や文化などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察しているか。	(1)(2)(3)(5)(6)(7)
主体的に学習に取り組む態度	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して他国や他国の文化を尊重することの大切さについて深めようとしているか。	(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)
評価方法	主な評価項目	
ペーパーテスト	(1)定期考査	
学習状況の観察	(2)ノート (3)表現した問い (4)歴史的な事象に関する興味・関心	
課題などの提出状況	(5)レポート	
模擬授業	(6)模擬授業の構想 (7)模擬授業の発表 (8)模擬授業の質疑応答	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立	・旧石器時代から縄文時代にかけての人々の生活の変化を環境の変化を踏まえて考察し表現する。 ・原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現できる。	(3)
	第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察し表現する。	(6) (7) (8)
	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	・律令制定の背景や意義について、東アジア世界の変化に着目し、国内統治の在り方の変化や律令制が地方に与えた影響を考察し表現する。	(6) (7) (8)
	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	・平安時代において、律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察し表現する。	(5)
二 学 期	第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現できる。	(3)
	第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	・鎌倉時代において、武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察し表現する。 ・モンゴル襲来が与えた影響について、国内の社会の変容を踏まえて多面的・多角的に理解する。	(6) (7) (8)
	第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	・室町時代において、庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮、中世社会の変容を考察し表現する。	(5)
三 学 期	第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化	・大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察できる。 ・中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現できる。	(3)
	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	・江戸幕府が成立する過程と幕藩体制が国内の統治に与えた影響について、鎌倉幕府と室町幕府との比較を通じて理解する。 ・江戸時代前期の特色を平和と秩序の視点から、権力の集中や価値観の変化を踏まえて考察できる。	(6) (7) (8)
	第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	・幕藩体制が動揺した原因を、国際環境の変化や貨幣経済の浸透を踏まえて多面的・多角的に考察することができる。	(6) (7) (8)

備考 (1)(2)(4)については、全ての単元において評価項目として用いる。